

経済産業省「技術・人材連携を通じたグローバルサウスとの共創事業
(優秀なIT・AI人材獲得に向けた人材活躍プラットフォーム事業)」
「Global South - Japan Tech Talent Internship」

事業概要のご案内



全体概要

日本経済の持続的成長、技術革新の起爆剤として期待されるグローバルサウス諸国の高度人材の活用をより活発化させるべく、雇用促進イベントやインターンシップを展開します

本事業実施の背景

背景

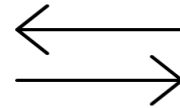
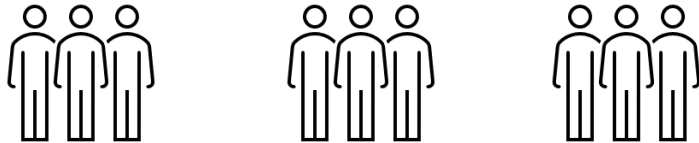
- 日本の国際競争力維持・強化には、世界的なエンジニア不足と人材争奪の激化を踏まえ、インドを始めとしたグローバルサウスの高度人材の受入れ拡大が不可欠だが、関心はあっても実行に踏み出せていない企業が多く存在。

目的

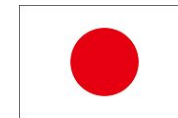
- グローバルサウスの優秀なエンジニア人材と日本企業の出会いの接点、雇用・就労の観点で互いに挑戦できる機会として雇用促進イベント・インターンシッププログラムを提供し、本課題に取り組む日本企業の活動を促進すること。

グローバルサウス諸国の高度エンジニア人材

インドを始めとしたグローバルサウス諸国の学生



機会・費用面での支援



日本企業



- 日本企業に対する認知度の向上
- 日本企業での雇用体験機会の提供

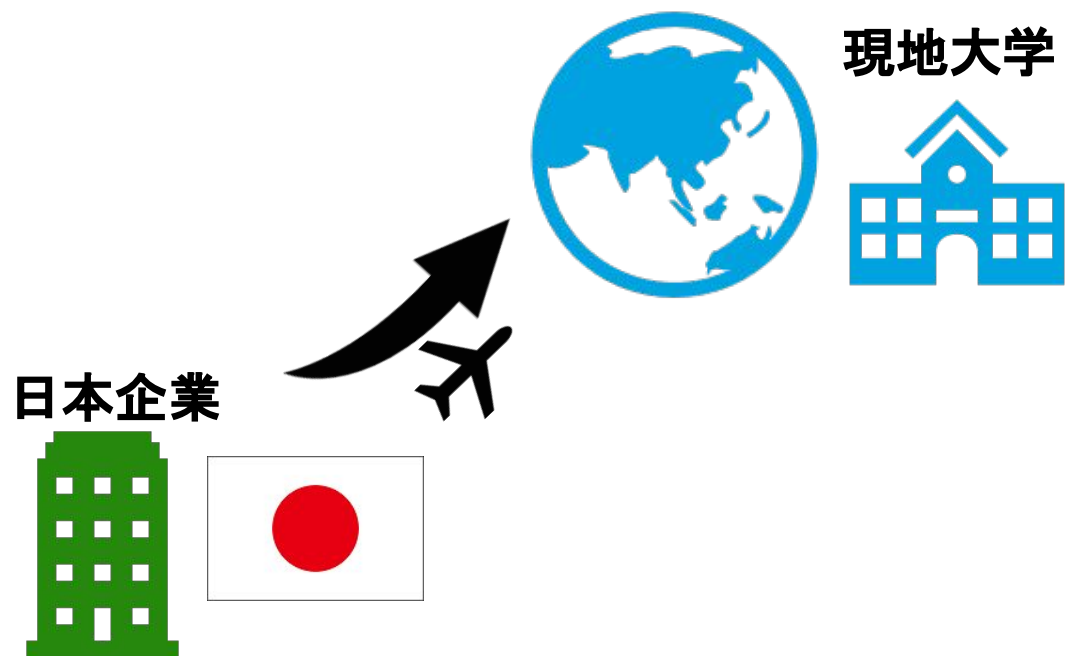
- グローバルサウス諸国の高度エンジニア人材採用に取り組む日本企業に対する支援を提供

本事業では、雇用促進イベントとインターンシップのプログラムの 2つを実施いたします

本事業の概要

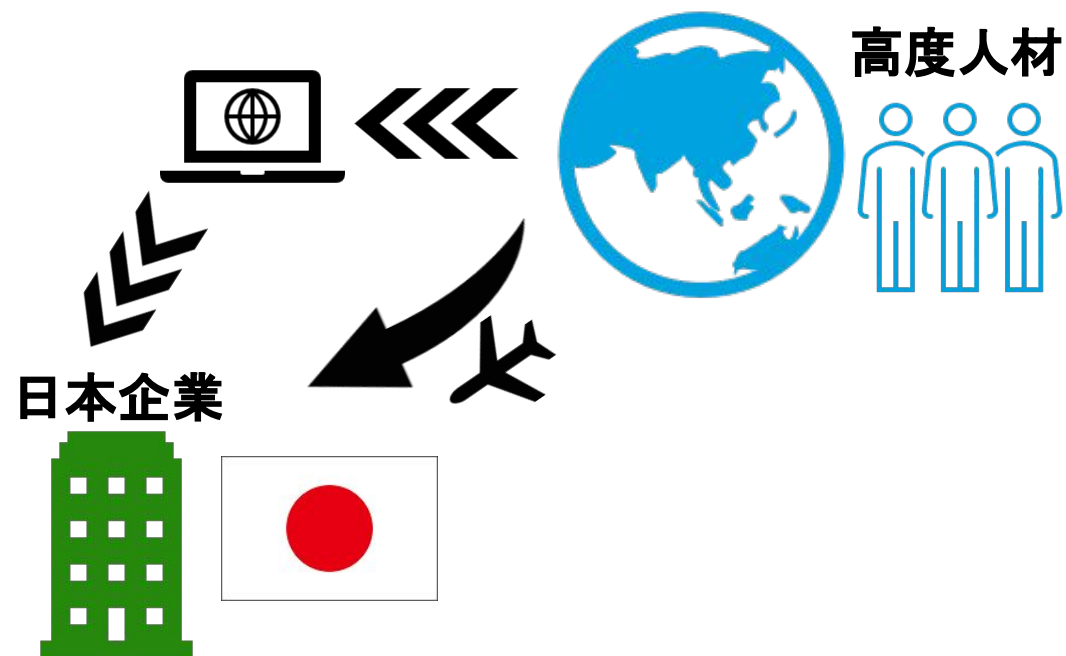
雇用促進イベント (2026年8~10月 開催予定)

- グローバルサウス各国の現地Top大学にて開催する 日本企業と現地学生の交流イベント。日本企業での就業への関心を喚起し、インターン応募を喚起



インターンシッププログラム (2026年9月~2027年2月 開催予定)

- グローバルサウス各国の優秀な学生と日本企業をオンラインでマッチングし、インターンシッププログラムを実施することで就労・雇用を促進する








雇用促進イベントのご紹介

雇用促進イベントは 8~10月にかけてアジア地域 4カ国で計7回開催を予定しており、
 参加する日本企業を 49社募集します。また、現地の学生は総計 1400人以上を想定しています

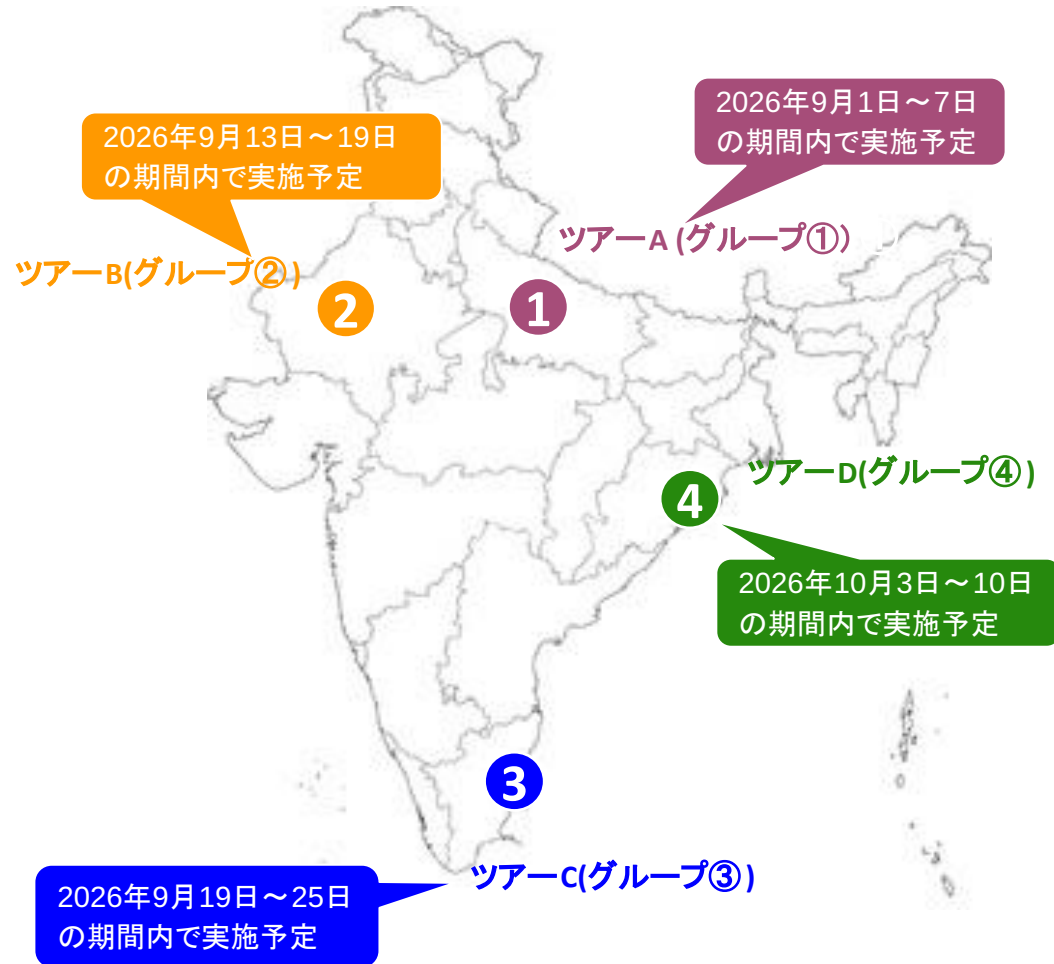
雇用促進イベント概要

IIT(India Institute of Technology: インド工科大学)を始めとした、
 各国トップクラスのIT/AI・半導体等
 エンジニアリング系大学を訪問

開催国	実施回数	実施内容	規模	訪問都市
インド 	4回	1回: 3泊4日 ※インドについては 中1日移動のため4泊5日 となる可能性有り  ・キャンパスツアー ・企業プレゼン ・経験者談共有 ・企業と学生のラウンド テーブル	1回あたり ① 日本企業 7社 ② 現地学生 200~400人 ③ 訪問大学数 2校	・ラジャスターン州 ・ウツタル・プラデーシュ州 ・オリッサ州 ・タミル・ナードゥ州
バングラデシュ 	1回			・ダッカ
スリランカ 	1回			・コロンボ ・モラトゥワ
ベトナム 	1回			・ハノイ

合計7回 14大学で実施

■ インドは4州、計8校での雇用促進イベントを実施予定です
IIT・NITを始めとする、各州を代表する理工系大学を訪問します



州

大学

ツアーA
グループ ①

1. Uttar Pradesh

- Indian Institute of Technology (Banaras Hindu University) Varanasi
- Indian Institute of Technology Kanpur

ツアーB
グループ ②

2. Rajasthan

- Indian Institute of Technology Jodhpur
- Birla Institute of Technology & Science – Pilani Indian

ツアーC
グループ ③

3. Tamil Nadu

- National Institute of Technology Tiruchirappalli
- Indian Institute of Technology Madras

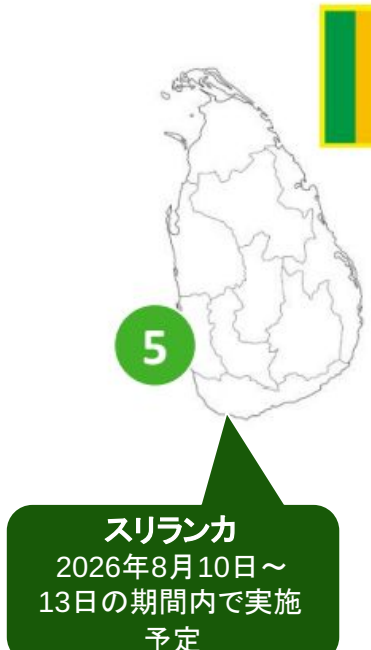
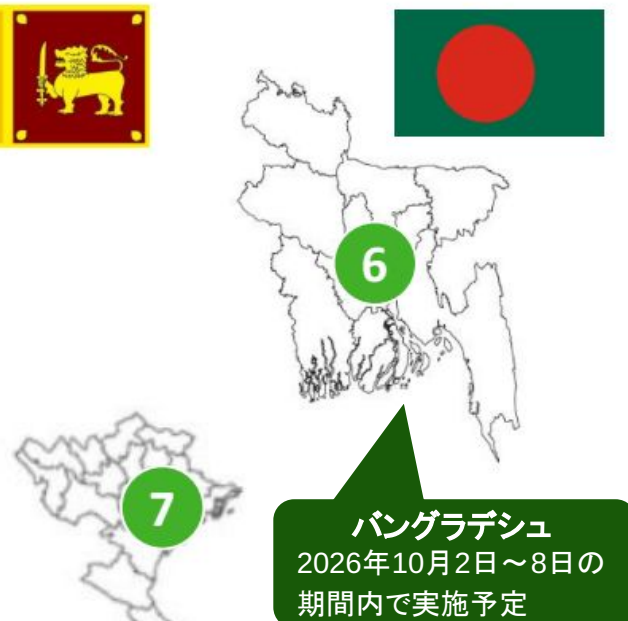
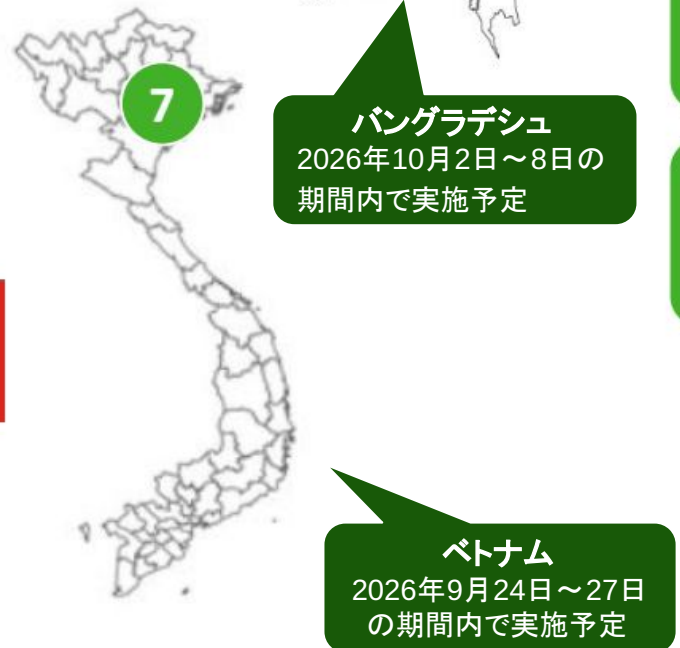
ツアーD
グループ ④

4. Odisha

- National Institute of Technology Rourkela
- Kalinga Institute of Industrial Technology

スリランカ・ Bangladesh・ベトナムにて3回、計6校での雇用促進イベントを実施予定です 各国Topクラスの理科系大学を訪問します

実施州（スリランカ・ Bangladesh・ベトナム）

	都市	大学
	コロンボ モラトゥワ	• University of Colombo • University of Moratuwa
	ダッカ	• University of Dhaka • Bangladesh University of Engineering and Technology
	ハノイ	• Vietnam National University, Hanoi • Hanoi University of Science and Technology

大学紹介①(インド)



Indian Institute of Technology Kanpur

国・州	インド / ウッタル・プラデーシュ州 カーンプル		
分類	国立 / STEM		
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 4位		
設立年	1959年	学生数	約9,000名

概要

IITの中でも歴史と実績を誇る上位校で、NIRF工学部門4位・総合5位を維持。19学科・25センター・570名超の教員を擁し、Applied Materialsとの半導体産学連携、TCSとのAI活用スマートシティ研究、HCLTechとのディープテックイノベーションなど最先端企業との共同研究が活発。スタートアップインキュベーションセンター(SIIC)に61社が入居し、起業家育成エコシステムも充実。インド・日本デジタルパートナーシップ2.0の枠組みで半導体・クリーンエネルギー・ICT分野の協力が深化しており、日本企業との共同研究拠点として高いポテンシャルを持つ。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス(全国最高水準)・電気工学・機械工学・航空宇宙工学・化学工学・物理・数学など



Indian Institute of Technology (Banaras Hindu University) Varanasi

国・州	インド / ウッタル・プラデーシュ州 ヴァラナシ		
分類	国立 / STEM		
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 10位		
設立年	1919年(バナーラス工科大学として創立) / 2012年 IITに改組	学生数	約8,000名

概要

1919年創立という100年超の歴史を持ちながら2012年にIITとして改組された、インド工学教育の老舗かつ革新教育機関。16工学・理学系学科と4つの学際スクールで89コースを提供し、NIRF工学部門で2024年15位から2025年10位へ急上昇。「半導体・AIイノベーションセンター」の設設計画が進行中でIT・AI・半導体分野の研究強化に注力。インド最古の聖都ヴァラナシに位置するという文化的背景と最先端工学研究が融合した唯一無二の大学で、日本との研究協力・留学交流にも開かれた環境を整えている。

IT、エンジニアリング関連学部情報

冶金工学・鉱山工学・セラミック工学・薬学工学・コンピュータサイエンス・電子工学・電気工学・機械工学・土木工学・化学工学など



大学紹介② (インド)

Birla Institute of Technology and Science, Pilani (BITS Pilani)

国・州	インド / ラジャスタン州, ピラニ		
分類	私立 (Deemed University) / STEM (理工学系総合大学)		
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 11位 (私立工科大学第1位)		
設立年	1964年	学生数	ピラニキャンパス単体 約6,000名

概要

インド最高峰の私立工科大学として知られ、2025年NIRFで私立大学第1位(工学部門11位)を達成。コンピュータサイエンス・エレクトロニクス・半導体ナノサイエンスのSc課程など先端プログラムが充実し、AIやデータ解析科目も体系的に整備。独自の「Work Integrated Learning Programme (WILP)」で在職社員の学位取得を支援し、インド大手IT企業・製造業との産学連携が強固。2025年にはフランスCentrale Supélecとの双方向AI・CS学位プログラムを開始し、グローバル連携を加速。日本企業の採用ブランドが高く、卒業生はCS・富士通・ソニー・インディア等に多数就職している。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス(CS)・電気電子工学(EEE)・機械工学・化学工学など



Indian Institute of Technology Jodhpur

国・州	インド / ラジャスタン州 ジョードプル		
分類	国立 / STEM		
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 27位		
設立年	2008年	学生数	約3500名

概要

2008年設立の新世代ITとして、AI・量子技術・サイバーセキュリティなど最先端分野に特化したカリキュラムが特徴。852エーカーの広大なキャンパスに最新研究設備を整備し、学際的なプログラム(AIとデジタル人文学の融合等)を積極展開。インド政府の「Chips to Startup (C2S)」半導体プログラムに参画し、半導体設計・製造教育にも注力。インド・日本AI協カイニシアティブおよびデジタルパートナーシップ2.0の枠組みのもと、日本の研究機関・企業との共同研究が期待される成長著しい新進気鋭のIT。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス・電気工学・機械工学・化学工学・バイオサイエンス・数学・物理・人工知能データサイエンス学院など



大学紹介③(インド)

Indian Institute of Technology Madras

国・州	インド / タミル・ナードゥ州 チェンナイ
分類	国立 / STEM
ランキング	NIRF Ranking in India 1位(7年連続・工学部門・総合首位)
設立年	1959年(西ドイツ政府の技術・資金援助により設立)
学生数	約8,400名

概要

NIRF総合・工学部門ともに7年連続首位を誇るインド最高峰の工科大学。三菱電機インドとのパワー半導体R&D協定、日本企業複数社との「共同研究セル(Joint Research Cell)」設立(2026年)など、日本との産学連携で最も先進的なIIT。2024年には人間中心AIセンター(CHAI)を開設し、AIの社会実装研究を牽引。リサーチパークには200社超の民間企業が入居するインド有数のイノベーションエコシステムを形成。半導体・AI・クリーンエネルギー分野で日本との協力関係が具体的に進展しており、インドへの技術投資・研究連携の最重要パートナー校。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス・電気工学・機械工学・航空宇宙工学・化学工学・海洋工学・データサイエンスAI・量子科学工学など



National Institute of Technology Tiruchirappalli

国・州	インド / タミル・ナードゥ州 ティルチラーパッリ
分類	国立 / STEM
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 9位(NIT中10年連続第1位)
設立年	1964年(Regional Engineering Collegeとして設立、2003年NIT移行)
学生数	約10,000名

概要

NITの中で10年連続インド第1位(NIRF2025工学9位)を誇る南インドの工学教育の代表校。17学科・10学士課程・42修士課程・17博士課程という充実した教育体制を持ち、IT・コンピュータサイエンス・エレクトロニクス分野のカリキュラムと研究力が国際的に高く評価される。卒業生はグローバルIT企業への就職実績が豊富で、インド南部の産業クラスターとの強固な連携を活かした産学共同研究も活発。海外大学との交流協定拡充に積極的で、日本の大学・企業との連携強化が期待されるITのフラッグシップ校。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス・エレクトロニクス通信工学・電気電子工学・機械工学・土木工学・生産工学(Production Engineering)・化学工学・計装制御工学・建築学など



大学紹介④ (インド)

National Institute of Technology Rourkela

国・州	インド / オリッサ州 ルールケラ		
分類	国立 / STEM		
ランキング	NIRF Ranking in India: 13位 (前年19位から大幅ランクアップ)		
設立年	1961年	学生数	約6,000名以上 (UG・PG・PhD合計)

概要

647エーカーの広大なキャンパスに位置するNITの中核校で、2025年NIRF工学部門では19位から13位へ急進。工学・理学・経営学・建築学にわたる多彩な学位プログラムを持ち、コンピュータサイエンス・エレクトロニクス・電気工学・データアナリティクスで高い評価を受ける。AI・データサイエンスの専門コースを近年充実させ、卒業生のキャリア実績も向上。オリッサ州の工業都市ルールケラの産業環境を活かした産学連携を強みとし、日本を含む海外大学・企業との研究交流への積極的な連携・姿勢が見られる。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータサイエンス・エレクトロニクス通信工学・電気工学・機械工学・土木工学・化学工学・冶金材料工学・建築学(NIT有数の名門)・経営学(MBA)など



Kalinga Institute of Industrial Technology

国・州	インド / オリッサ州 ブバネーシュワル		
分類	私立 (Deemed University) / STEM・総合大学		
ランキング	NIRF Ranking(工学) in India: 36位		
設立年	1992年	学生数	約30,000名 (45カ国以上からの留学生含む)

概要

30,000名超・45カ国からの留学生を受け入れるインド屈指の大規模私立工科大学で、NAAC最高評価A+++・米国ABET・英国IET国際認証を保有。195大学との国際連携ネットワーク、2,500名の教員・研究者体制のもとでAI・機械学習・データサイエンスの研究センターを積極展開。タイムズ高等教育(THE)世界ランキングへの登場、ワシントン大学との学生交流プログラム実施など国際的プレゼンスが急上昇中。大規模なIT・ICT人材を育成する発信地として、日本の大学や企業との協定強化が期待されるポテンシャルの高い新興校。

IT、エンジニアリング関連学部情報

コンピュータ工学・電子工学・機械工学・土木工学・電気工学・バイオテクノロジー・応用科学・建築学・経営学・医学など



大学紹介⑤(バングラデシュ)

University of Dhaka (DU)

国・州	バングラデシュ, ダッカ県, ダッカ市		
分類	国公立、総合		
ランキング	QSアジア大学ランキング 132位 THE(Times Higher Education) 世界大学ランキング 1,001-1,200位		
設立年	1921年	学生数	37,018人

概要

- 理学、人文学、その他専門分野など、幅広い領域にわたるプログラムを有している。教育を使命とするだけでなく、研究活動や公共サービスにも取り組んでいる。
- マイスターバイオ社、広島大学、熊本大学など、複数の日本の企業や大学と研究パートナーシップに関するMoUに署名している。

IT、エンジニアリング関連学部情報

- 理学部 (Faculty of Science)
- 工学・技術学部 (Faculty of Engineering and Technology)



Bangladesh University of Engineering and Technology (BUET)

国・州	バングラデシュ, ダッカ県, ダッカ市		
分類	国公立、STEM(科学・技術・工学・数学)		
ランキング	QSアジア大学ランキング 165位 THE(Times Higher Education) 世界大学ランキング 1,001-1,200位		
設立年	1962年	学生数	約5,500人

概要

- ハイレベルなITエンジニアを輩出する名門校として世界的に評価されている、バングラデシュ最難関の国立理工系総合大学。
- 東京大学や早稲田大学をはじめとする日本の大学と、共同研究や学生交流協定を結んでいる。

IT、エンジニアリング関連学部情報

- 工学部 (化学、材料など)(Faculty of Chemical and Materials Engineering)
- 土木工学部(Faculty of Civil Engineering)
- 機械工学部(Faculty of Mechanical Engineering)
- 電気電子工学部(Faculty of Electrical and Electronic Engineering)



大学紹介⑥(スリランカ)

University of Colombo (UoC)

国・州	スリランカ, コロンボ県, コロンボ市		
分類	国公立、総合		
ランキング	QSアジア大学ランキング 318位 THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング 1,001-1,200位		
設立年	1921年	学生数	37,636人

概要

- スリランカ最古の国公立大学で、医学、法学、経営、理学、コンピューターサイエンス、人文などの幅広いプログラムを提供している。優れた研究成果を上げているほか、影響力のある学術ジャーナルも発行している。
- 2009年に広島大学とMoUを締結し、平和構築プログラムおよび平和科学研究を重点分野とする連携を行っている。

IT、エンジニアリング関連学部情報

- University of Colombo School of Computing (UCSC)



University of Moratuwa (UoM)

国・州	スリランカ, コロンボ県, モラトゥワ市		
分類	国公立、総合		
ランキング	QSアジア大学ランキング 554位以上 THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング 501-600位		
設立年	1978年	学生数	10,918人

概要

- 国を代表する技術系大学。エンジニアリング、情報技術、デザイン分野に特化した教育を提供している。イノベーションと創造性を育むとともに、南アジア地域をはじめ、より広い地域における技術発展を支える研究で高く評価されている。
- 長岡技術科学大学、宮崎大学、東北大学、埼玉大学とMoUを提携しており、エンジニアリングおよびテクノロジーの分野における、学術交換、研究提携、学生の留学などの促進を目指している。

IT、エンジニアリング関連学部情報

- 工学部 (Faculty of Engineering)
- 情報技術学部 (Faculty of Information Technology)



大学紹介⑦(ベトナム)

Vietnam National University, Hanoi (VNU)

国・州	ベトナム、ハノイ市、カウザイ地区		
分類	公立、総合		
ランキング	QSアジア大学ランキング 158位 THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング 801-1000位		
設立年	1993年	学生数	約47,500人

概要

- ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU-Hanoi) は、首相直属のベトナムを代表する国立総合大学である。国内トップレベルの教育・研究機関として知られ、日本の東京大学に相当する、国内最難関のエリート校の一つに位置づけられている。
- IT、エンジニアリング関連学部情報**
- 工科大学 情報技術学部 (Faculty of Information Technology, VNU-UET)
- 国際学部 (VNU-IS) - 応用情報技術専攻 (Applied Information Technology)
- 情報技術研究所 (VNU-ITI)



Hanoi University of Science and Technology (HUST)

国・州	ベトナム、ハノイ市、ダイコーベト		
分類	国立、STEM(科学・技術・工学・数学)		
ランキング	QSアジア大学ランキング 315位 THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング 1501+位		
設立年	1956年	学生数	約35,000人

概要

- ベトナムの最初の技術系総合大学であり、理科系においてベトナム国内1位という名門大学である。
- IT、エンジニアリング関連学部情報**
- 情報通信工学 (School of Information and Communication Technology)
- 電気・電子工学 (School of Electrical and Electronic Engineering)
- 機械工学 (School of Mechanical Engineering)
- 物質理工学 (School of Materials Science and Engineering)



1回あたり3泊4日のスケジュールを組み、現地大学 2校の学生に対して事業説明や交流会を行います

雇用促進イベントプログラム例

目的

日本企業就業への関心を喚起し、
インターン・採用応募層を形成

概要

現地大学と連携して1日のイベントを行い、学生向けにプログラム紹介と同行企業との交流し、インターンへの応募意欲を喚起

スケジュール(1回あたり)

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前中	日本から現地への移動	大学Aとの交流会	大学Bへ移動	日本へ帰国
午後		学生向け事業紹介 企業によるピッチ ラウンドテーブル	学生向け事業紹介 企業によるピッチ ラウンドテーブル	

昨年度(インド)の様子



現地大学生と
日本企業の
交流会の様子

現地学生向け
セミナーの様子



参加企業は、企業のプレゼンテーションや学生との交流を通じて、求める学生への認知度向上、インターンへの応募獲得をいただける機会として活用いただけます

1日のスケジュール（例）

会場	時間	項目
大学会議室	10:30 - 11:15	就職支援部署／大学教員との交流セッション
キャンパス内	11:15 - 12:30	キャンパスツアー
食堂	12:30 - 13:30	ランチ・ネットワーキング
セミナーホール	13:40 - 14:00	開会、挨拶
	14:00 - 14:20	プログラム紹介・日本、日本企業の就業地域としての魅力紹介
	14:20 - 15:45	企業プレゼンテーション(各 10分)7社
	15:45 - 16:00	日本企業でインターンシップ経験者もしくは就業経験者による 体験共有
	16:00 - 16:10	インターンシップ登録プラットフォームの紹介
	16:10 - 16:15	写真撮影
教室	16:15 - 18:00	企業と学生のラウンドテーブル・課題解決型ディスカッション等
	18:00 -	閉会(別途現地企業との交流会等を企画)

昨年度の雇用促進イベントの様子を一部ご紹介します ～開会、プログラム説明

BITS Pilani・IIT Gandhinagarでの啓発イベントの様子

BITS Pilani校



IIT-Gandhinagar校



昨年度の雇用促進イベントの様子を一部をご紹介します ～ラウンドテーブル

Anna 大学でのラウンドテーブルの様子



昨年度の雇用促進イベントの様子を一部をご紹介します ～学生プロジェクト紹介・記者会見・懇親会等

IIT Guwahati – 学生プロジェクト紹介・記者会見・懇親会

学生プロジェクト紹介

- 仮想通貨の投資予測モデルや、クリケットのベストチームをAI予測するゲーム等、オリジナリティあふれる学生のプロジェクトを展示



記者会見

- 地元新聞社やテレビ局に対して、高山審議官より地理的戦略性の観点等を踏まえたGuwahatiと日本の交流の重要性について説明が行われた



懇親会

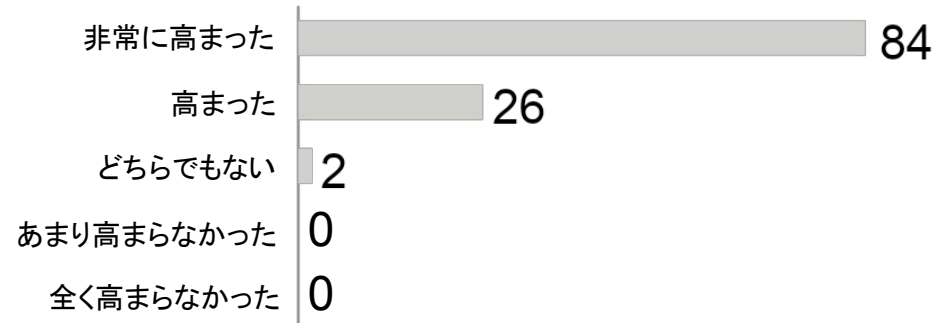
- ランチやディナーで、参加者が学生と同じテーブルにつき交流
- 笛や踊り等を通じて、本イベント参加者への感謝を改めて伝えられた



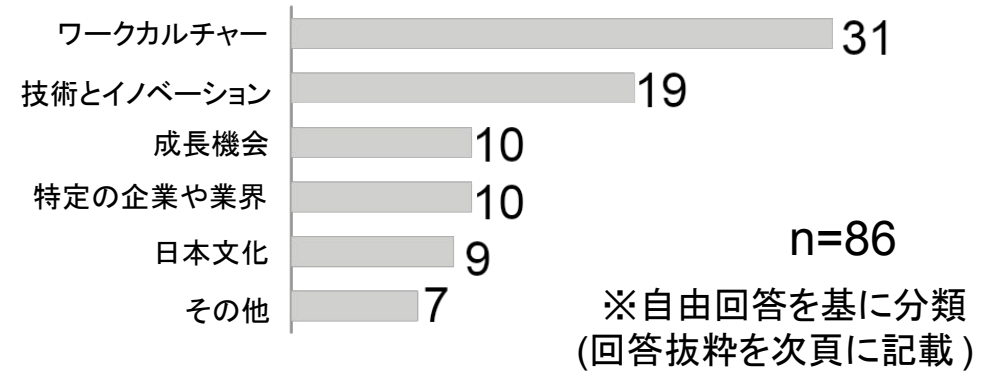
イベントを通じて、日本企業と出会った多くの学生が日本企業でのキャリアにポジティブな反応を示しました

過去参加者の声

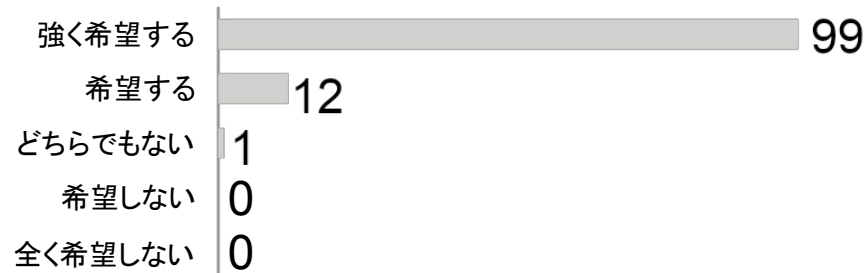
このイベントは、日本企業でのキャリアを目指す意欲を高めましたか？



もし意欲が高まった場合、日本や日本企業の どのような点に魅力を感じましたか？ (自由回答)



今日のイベントで出会った企業を含め、日本企業でのインターンシップや正社員としての就職を希望しますか？



- ・イベント参加学生数(およそ): 250名
- ・アンケート回答数: 112名(2026年卒:112名)

Anna大学での学生アンケートより

雇用促進イベントでは、以下の要領でご参加いただく企業の募集を行います

雇用促進イベント参加要領

参加対象の企業

- **1ツアーあたり7社、計49社の参加枠** (※内容の一部変更が発生する場合がございます)
- 応募多数の場合は事務局にて選考の上、決定
 - インターンシッププログラムへの参加意向がある企業を優先して選考

プログラムでの 支援内容

- ツアー1名分の旅程手配、及び参加に係る渡航費・現地宿泊費・現地バス等移動費用
- 1企業最大3名まで。(上記1名を除いた費用は自社負担。旅程の手配は事務局にて対応可)

インターンシッププログラムのご紹介

グローバルサウス諸国の優秀な学生と日本企業をオンラインでマッチングし、インターンシッププログラムを実施することで就労を促進します

インターンシッププログラムの概要

募集対象

- IT・AI・半導体等の先端分野のほか、理工系分野の専門性を活かして活躍できる職種での人材獲得を目指す日本企業および現地日系企業

インターンシップ実施期間

- <対面開催>2026年9月～2027年2月のうち原則1ヶ月半、但し、企業・インターン双方の合意により2週間～2ヶ月も可
※対面での受入れが難しい企業はオンラインにて開催も可能。上記期間のうち原則1ヶ月、但し、企業・インターン双方の合意により2週間～1ヶ月も可

インターン対象者

理工系分野(IT・AI・半導体等)を学ぶグローバルサウス諸国(インドやASEANなどのアジア地域のほか、アフリカ、中南米、東欧地域含む)の学生等(卒業後3年以内含む)※
※OECD DACList掲載国(中華人民共和国を除く)の国籍を有し、海外に居住していること

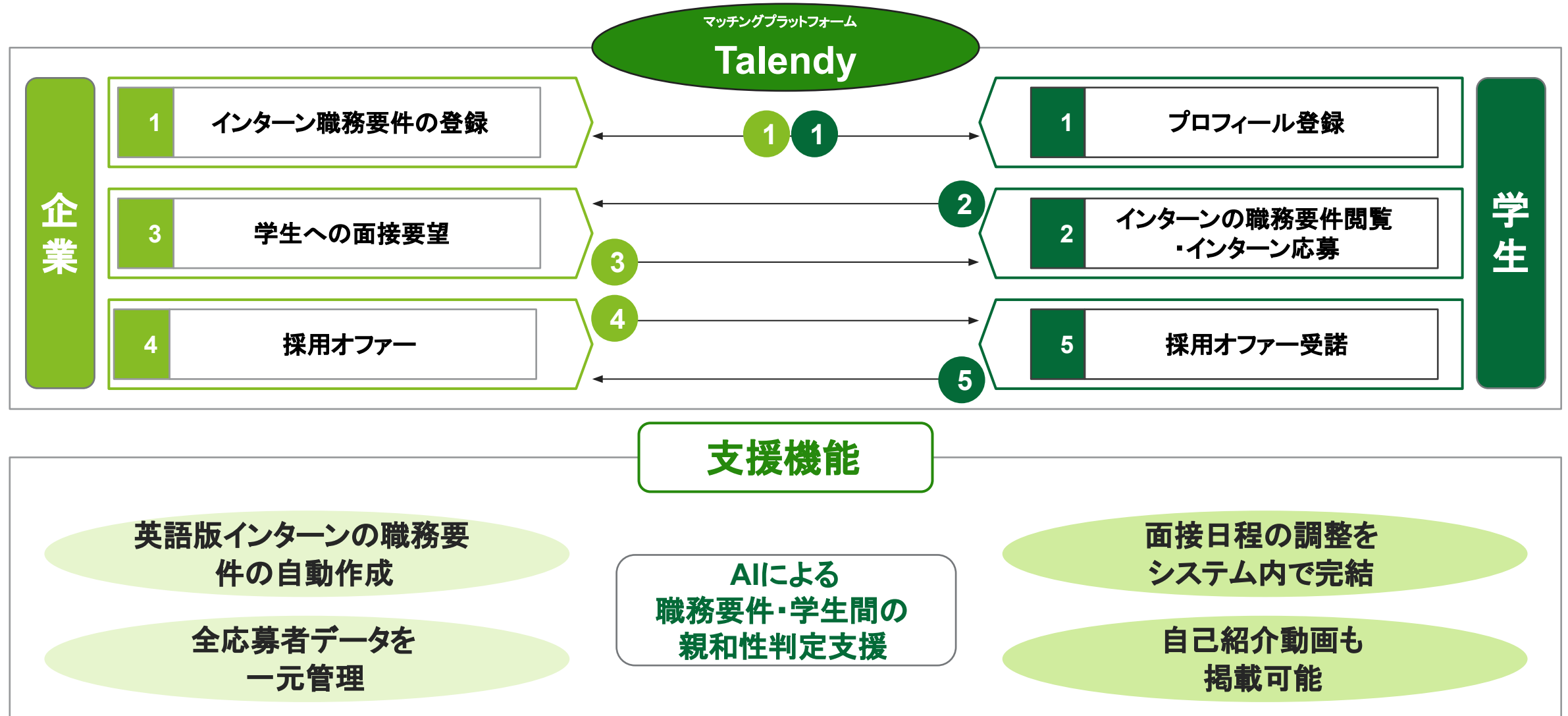
受入企業の主な要件

- インターンシップ実施を通じてグローバルサウス人材を活用し、具体的なミッションや業務に対してインターンと共に協働できること
- 上記の募集対象に該当するインターン生を受け入れる体制を整備できること
- 高度外国人材の採用に意欲的な企業
- 日本企業の場合、日本国内に法人格を有し、日本国内に本社・本部が所在する企業等であること
- 現地日系企業の場合、「日本企業」又は「日本国籍を有する者」からの出資比率が2/3以上の企業であること
- 受入企業において業務に関する実践的な就業体験を提供できること

※但し、業界団体、非営利法人、自治体を除く

企業はマッチングプラットフォーム “Talendy” の使用により優秀な学生と効率的にマッチングすることができます

マッチングイメージ図



コーディングテストおよび専門スキル登録を実施し、成績上位者や専門スキル保有者とのマッチングが可能となっています。インターン内定後は就労に向けた各種フォローアップも実施します

募集からアフターフォローまでのポイント

マッチング前のポイント

コーディングテスト実施

専門スキル登録

優秀な人材と優先的にマッチング

- コーディングコンテストの成績上位者や専門スキル保有者を優先的にマッチング
→ 優秀な人材を獲得可能
- 上記以外においても、コーディングコンテスト受験者はプラットフォーム上の企業紹介動画を視聴し、自主的に応募が可能
→ 幅広い候補者から応募を獲得
- 専門スキルを登録した受験者は、掲載企業情報を随時閲覧し、公開JD(求人票)へ直接応募可能
→ スキル適合度の高い人材から継続的に応募を獲得

マッチング成立



インターン内定者に対するフォロー

1. 事前研修

- インターンの目的・目標の事前確認
- ビジスマナーや日本での生活ルールについて
- 危機管理やコンプライアンスに関する事項

2. インターン開始直前オリエンテーション

- 日本での生活面の不安を解消するオリエンテーションを実施

3. インターン期間中の追加支援

- 学生の適応状況や企業からのフィードバックに基づき、必要に応じて追加支援を検討

インターン生が来日の間、安心して企業インターンシップに参加できるように、24時間体制での生活・医療のサポート、および渡航に必要な情報提供・手配サポートを実施します

インターンシップの実施及び管理: 対面インターン向けサポート

安全・危機管理のための24時間サポート

- 対面インターン参加者向けには日本滞在中、アプリおよび電話による生活相談・医療通訳の依頼が可能な24時間サポート専門サービスによるサポートを実施する
- 日常生活に役立つ情報や非常時の災害情報もアプリにてプッシュ通知が可能で、参加者により安心して日本での生活を送れるようにサポートする
- 課題が発生した場合の緊急連絡窓口を事務局に設置し、迅速なフォローが提供できる体制を構築する

▼アプリイメージ▼



渡航に必要な手続きのサポート

- 左記の安全・危機管理サポート以外にも、対面インターン参加者が円滑に日本へインターンシップ参加できるように、渡航や宿泊などについて、事務局による費用の負担に加え、手配サポートも提供する

宿泊場所

受入れ先企業の希望も考慮の上、事務所近くのマンスリーマンションなど情報提供・手配

往復航空券

受入れ先企業・インターン生と調整の上、日本への往復航空券を手配

査証取得

各地大使館に提出必要のある書類を作成・収集しインターン生のビザ取得をサポート

保険加入

滞在期間中が対象となる海外旅行保険、賠償責任保険や企業業務上必要な保険加入を手配

通信環境手配

滞在期間中に必要な通信手段(SIMカード・貸出WiFiなど)を手配

インターンシップの実施にあたり発生する以下の費用について、一部の費用を本プログラムにて負担します

インターンシップの実施及び管理:費用面等のサポート内容(仮)

対面開催

- 1社につき原則5名まで。
(※1社につき2名以上のインターンシップを推奨)
- 実施期間:標準1.5カ月(企業と学生の調整により週間~2か月で調整可)

対象	支援内容
全企業共通	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 査証取得サポート ✓ 通信環境手配サポート ✓ 保険料(海外旅行保険、身元信用保険、賠償責任保険、約定履行費用保険) ✓ 滞在費に係るその他諸費用の一部支援
国外在住の高度外国人人材を雇用していない日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 滞在中の宿泊費 ✓ 往復航空券費 ✓ 人材育成支援費(2千円程度/人・日)※1
国外在住の高度外国人人材を雇用している日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 往復航空券 ✓ 人材育成支援費(2千円程度/人・日)※1

オンライン開催

- 1社につき原則5名まで。
(※1社につき2名以上のインターンシップを推奨)
- 実施期間:標準1ヶ月。(企業と学生の調整により週間~1か月で調整可)

対象	支援内容
全企業共通	<ul style="list-style-type: none"> ✓ オンライン参加のインターン生の環境整備費用(1千円程度/人・日)。
国外在住の高度外国人人材を雇用していない日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材育成支援費(2千円程度/人・日)※1
国外在住の高度外国人人材を雇用している日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材育成支援費(2千円程度/人・日)※1

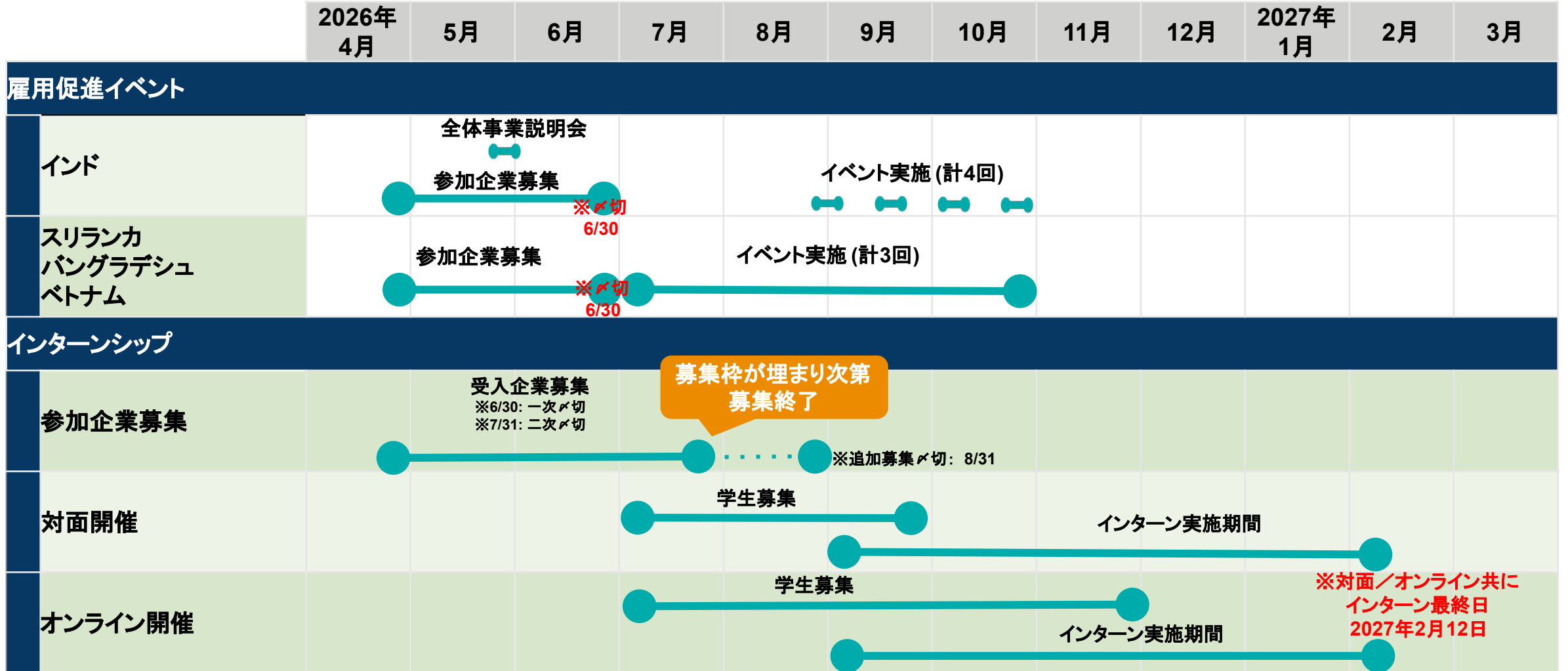
※サポート内容については一部変更が生じる場合がございます。

※1:インターンシップ受入企業に対する人材育成支援費2千円程度/人・日)は中堅・中小企業にのみ支援することとする。
(日本企業の現地法人の場合は、日本本社が中堅・中小企業等である場合に支給。中小企業の定義は、中小企業基本法の定めに基づきとする)

実施スケジュール

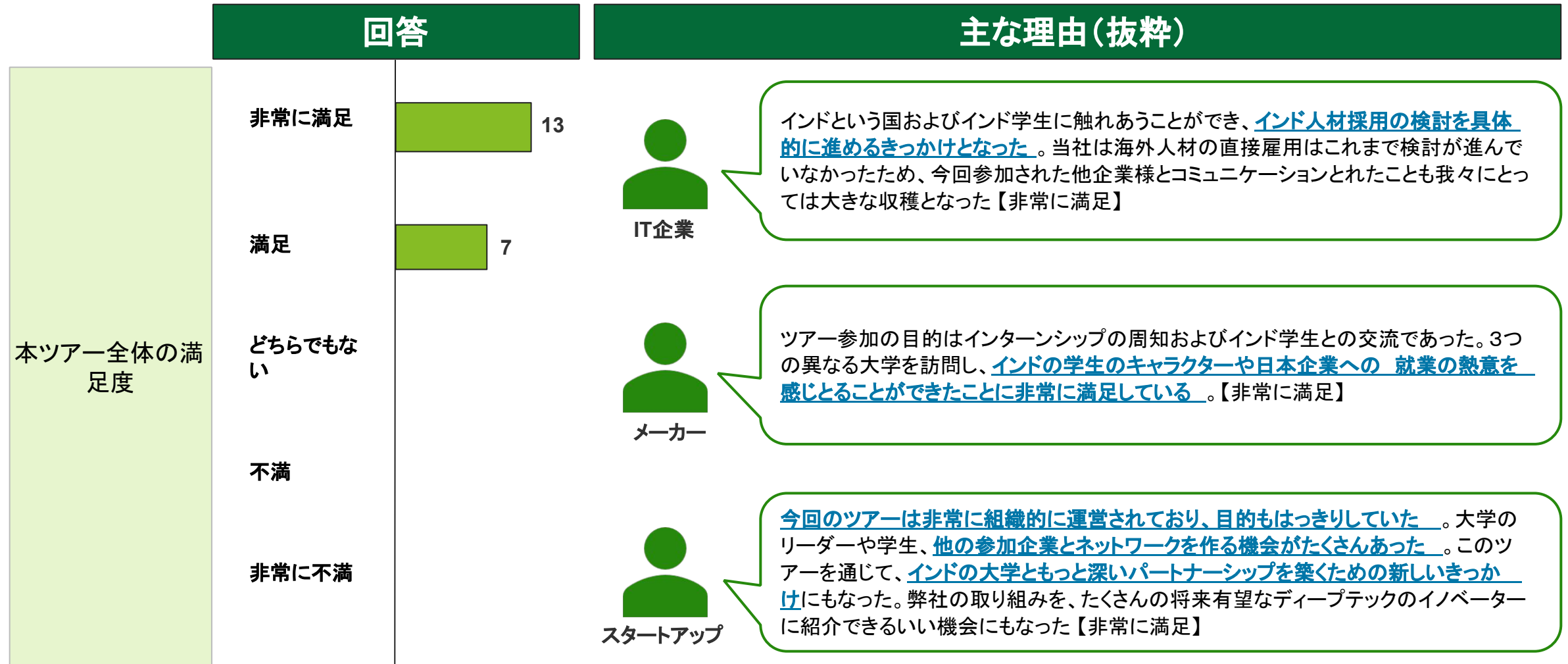
本事業の申し込み一次〆切は 6月30日になる予定です

事業実施スケジュール(予定)



参加した全ての企業が雇用促進イベント全体の満足度を「満足」以上として評価し、高度人材の採用検討のきっかけとなったことや、ネットワークの構築ができたことを高く評価しています

昨年度の雇用促進イベント参加者の声(抜粋)



参加した学生は「日本企業の労働倫理」や「品質とイノベーション」など魅力に感じていただき、受入企業もインターン生のスキルを高く評価しています

昨年度のインターンシッププログラム参加者の声(抜粋)

参加学生からのコメント



学生

日本の企業の労働倫理が好きで、そのプロフェッショナリズムのあり方をとても高く評価しています。
日本は先進技術が発展し続ける国で、そこに参画したいと思っています。



学生

そこには多くの機会があり、私はそれに取り組むための必要なスキルを備えていると考えています。日本の文化と労働倫理を尊敬しています。品質とイノベーションを重んじる専門的な環境で学び、成長するチャンスだと捉えています。



学生

日本は技術・エンジニアリング分野で、イノベーション、品質、規律の面で高い評価を得ています。日本の働く文化を体験し、国際的なチームと協働することに 関心があります。日本で働くことで、異なる専門環境から学びつつ、技術的にも成長できると思います。

受入企業からのコメント

アサインした課題に対し、短い期間で概ね期待した成果を出した。
非常に優秀かつ繊細な心を持ったメンバーに参画いただきました。



受入企業

組織全体に「多様性を受け入れる土壌」ができた ことです。当初は言語や文化の壁に戸惑う社員もいましたが、共に働く中で「違い」を「新しい視点」として楽しめるようになりました。海外市場への意識も高まり、社内が活性化したことは、何物にも代えがたい成果だと感じています。



受入企業

日本語がほぼ話せないためコミュニケーションが取りづらい場面も見られたが、研究者としてのスキルは申し分なかった。



受入企業

本事業への参加お申込み



申込URLはこちら

[https://www16.webcas.net/form/pub/
form/program-application](https://www16.webcas.net/form/pub/form/program-application)

本事業に関するご質問につきましては、事務局までお気軽にお問い合わせください。

Global South - Japan Tech Talent Internship 事務局

受託事業者: デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 / Tech Japan株式会社

gs_hr_exchange_support@tohmatu.co.jp

globalsouth_hr_exchange_support@techjapan.work